轟木小児童らが稲刈り体験

農業に触れその大切さ学ぶ

９月19日の農地の日、轟木小学校（鈴木俊行校長、児童24人）の児童らによる稲刈り体験が、同校近くの水田で行われました。これは、体験を通して農作業の大変さと、農業や食の大切さを理解するために毎年行われているものです。児童らは広さ300平方㍍の水田の中で、稲を刈る人、束ねる人など役割分担をして作業。農家の人からアドバイスをもらいながら、丁寧にこなしました。収穫したもち米は10月に行われた「とどろき祭り」で雑煮にされ、来場者に振る舞われました。

元気に78年目を迎えてもらうため

山田町喜寿を祝う会を開催

９月27日、町中央公民館小ホールにおいて平成26年度山田町喜寿を祝う会が開催されました。これは、高齢者の方々に自らの生活向上の意欲を高めてもらうことを目的に毎年行われているものです。当日は町内の各地区から喜寿を迎えた127人の方々が参加。山田町食生活改善推進員の皆さんがこの日のために用意した料理に舌鼓を打ちました。また、山田幼稚園、大沢保育園の園児らによるステージショーなどを楽しみ、生き生きとした表情を浮かべていました。

船越小でふれあい給食会

甘口カレーに児童は大喜び

おかわりください――。10月６日、船越小学校（佐々木茂人校長、児童135人）において、山田アマチュア無線ネット赤十字奉仕団主催のふれあい給食会が開催されました。赤十字奉仕団の佐々木一彦副委員長は「たくさん食べて勉強をがんばり、やさしい大人になってください」とあいさつ。山田町食生活改善推進員、船越婦人会、田の浜婦人会の方々の協力により作られたカレーを受け取った児童らは、「とてもおいしい」と喜びながらおいしそうに頬張っていました。

織笠老クで交通安全・防犯講話

自己防衛意識の向上を図る

織笠老人クラブ（昆野昭子会長）の定例会で交通安全・特殊詐欺防止講話が10月９日、猿神仮設集会所を会場に行われました。講師は宮古警察署と山田交番の署員計６人。集まった14人の会員らは、講話に熱心に耳を傾けていました。交通安全講話では飲酒運転の摘発状況や事故発生状況を確認。また、特殊詐欺防止講話ではどのようにだまされるのかを寸劇で実演しました。昆野会長は「特殊詐欺では、自分はだまされないと慢心せず、何かあったら警察に相談しないと」と会員らと再確認しました。

町のわだい

今月の題字　上林　美玖（みく）さん（山田北小２年）

２０１４山田農業まつり開催
農産物のおいしさをＰＲ

10月19日、2014山田農業まつりが豊間根中学校グラウンドで開催されました。これは、山田の農林産物をアピールすることで地産地消の拡大を図り、生産者の意識を高めるために毎年開催しているものです。会場では、祝いまきをしたり山田の農林産物や団子などのお菓子が販売されたりしたほか町外からの応援出店があり、会場に詰め掛けた大勢の人らが買い求めました。また、豊間根保育園児による「よさこいソーラン」や山田吹奏楽団による演奏、関口剣舞も登場し、まつりに彩りを添えていました。

山田中２年生が職場体験
進路選択に向け弾み付ける

10月７日、町内の事業所29カ所において山田中学校（福士幸雄（ゆきお）校長）の２年生110人が職場体験を行いました。これは、生徒たちが仕事を体験し、今後の進路選択に役立てようというものです。山田町第一保育所では11人の生徒が保育を体験。乳児クラスを受け持った堀合泉（いずみ）さんは「保育士になるのが夢なので希望した。子どもの性格に合わせた対応は大変だけど、それでも子どもたちはかわいい」と笑顔を見せていました。

※この記事と写真は、町総務課へ職場体験に訪れた吉田愛音（あのん）さん（山田中２年）が取材し、作成したものです。